



まじゆは

学校教育目標「心豊かに たくましく生き抜く 子どもの育成」

令和6年10月18日

小田原市立新玉小学校

校長 山田 明子

前期終業式 ～次の学年に向けて～

10月11日に前期終業式がありました。1年生・3年生・5年生の代表児童が前期の振り返りと後期に向けて頑張りたいことなどを発表しました。

終業式では学校教育目標を振り返りました。4月に朝会で「あたたかな笑顔あふれる新玉小」をつくってこうという話をしました。これを具現化するため全校で初めて「教育漫才」に取り組みました。本校のめざす子ども像にある「前向きにチャレンジする子」が達成できたと思います。「教育漫才」は何を目的にしているのでしょうか。学習を始める前に6月の全校集会で確認しましたが、「温かい笑いをつくるため、笑顔あふれる学校にするため」です。「温かい笑い」は人の心を愉快にしてワクワクさせ、人を元気にする力がある一方で「冷たい笑い」は人の心を不安定にします。自分の行動や言葉遣いを振り返り、周囲の人々を温かい気持ちにさせられたかどうか一人ひとりが考え、後期をスタートさせたいです。



前期
終業式
全員で
校歌斉唱



お知らせ

○10月26日(土)午前に運動会を予定しています。雨天順延などにより翌日27日(日)運動会が実施となった場合、**本校体育館は、衆議院選挙の投票所として使用されることとなります。**ただし、体育館の半分は保護者・地域の方の休憩場所として使用可能ですので、ご安心ください。

○令和6年度卒業式は令和7年3月21日(金)に行われます。昨年度は久しぶりに在校生代表として5年生が出席しました。**今年度は5年生と4年生が在校生代表として卒業式に出席します。**(卒業式当日、1～3年生は臨時休業となります。)

○地域の方から、図書室の本を購入する寄付金をいただきました。新しい本を購入する計画を立て注文しました。どうもありがとうございました。

意見をつなぐ学び合い



10月4日に教育漫才でおなじみの田畑栄一先生をお迎えし、「意見をつなぐ学び合い」をテーマに校内研究を行いました。この日は2年国語「ロボット」の授業提案がありました。授業は全文シート(教科書の全文が1枚の用紙に載っているもの)を用いて、文を根拠にして書いた自分の考えを発表しました。発表するときは『三角ロジック』を使います。『三角ロジック』とは①結論②根拠③理由の順に話すことを意味します。2年生の指導案には、結論＝言いたいこと、根拠＝どこに書いてあるか、理由＝考えを詳しく、と書いてありました。同じ文を根拠として選んでいる児童同士の意見をうまくつなげていました。また、友達の発表を上手にメモして、各々振り返りに生かしていました。メモを取る用紙も3種類あり、児童は自分に合うものを選択します。



2年 国語の授業



校内研究会の様子

午後の研究協議では田畑先生から「全員発表が目的ではない、自信のない子や発表が苦手な子、自分から人前になかなか出てこない子の自己肯定感をいかにして上げるかが大事」、「○か×か、という正解主義の授業からいかにして脱却するか」という話がありました。

日々の授業で大切にしたいのは、「なぜそれが○なのか、×なのかという過程をみんなで考えていくこと」です。自己肯定感と似た言葉に自己有用感があります。自己有用感とは他人に褒められたい、認められたい、と常に周囲の評価を気にするものです。一方、自己肯定感とは自分を取り巻く状況や自分への評価が変わってもブレないで生きていける力です。

教師や親はいかにして子どもの自己肯定感を高められるかが大事です。授業を通して子どもたちの自己肯定感を高め、たくましく生き抜く子どもを育成するために今後も取り組みを重ねていきます。